

# 第5回 全国高校生 手話パフォーマンス甲子園

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

## 実績報告書

# 第5回 全国高校生 手話パフォーマンス甲子園

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

## 実績報告書



- 主催 / 手話パフォーマンス甲子園実行委員会
- 共催 / 鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 ●特別協力 / 一般財団法人全日本ろうあ連盟
- 後援 / 内閣府、厚生労働省、文部科学省、米子市、手話を広める知事の会、全国手話言語市区長会、一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、全国高等学校文化連盟、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団、社会福祉法人NHK厚生文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国難聴児を持つ親の会、日本演劇教育連盟、日本障害フォーラム、日本赤十字社鳥取県支部、鳥取県青少年赤十字指導者協議会、朝日新聞社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、日本経済新聞社鳥取支局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSK山陰中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、鳥取県ケーブルテレビ協議会、エフエム山陰、FM鳥取、DARAZ FM

- 協賛 / AKASHI S.U.C.、SUNABA COFFEE、鳥取県第二システムセンター、鳥取銀行、マールズ、ワイドコーポレーション、山陰合同銀行、TIC 社会福祉情報センター、大丸、日本赤十字社、大丸製菓協同組合、一般社団法人鳥取県多摩建設協会、AEON、鳥取県立総合文化センター、TSURUMI PUMP、SUNTORY、特別協賛 / THE NIPPON FOUNDATION

手話パフォーマンス甲子園実行委員会







# 目次

- 開催概要 ..... 03
- 大会スケジュール ..... 04
- 開会式 ..... 06
- 出演者紹介 ..... 11
- 表彰結果 ..... 12
- 表彰内容 ..... 14
- チーム演技 ..... 15
- ゲストパフォーマンス/大会公式応援ソング ..... 25
- 閉会式 ..... 26
- 会場の催し ..... 28
- 公式グッズ販売 ..... 30
- バリアフリー対策 ..... 31
- 交流会 ..... 32
- 予選審査会 ..... 34
- 広報 ..... 36
- 大会ダイジェスト番組 ..... 38
- 手話パフォーマンス甲子園実行委員会 ..... 39



記載されたQRコードを読み取ると「手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル」で動画を視聴することができます。



# 開催概要

## ● 目的

ろう者とろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を「手話の聖地」鳥取県で開催しました。

## ● 日時

平成30年10月7日(日) 9時～16時

## ● 会場

米子コンベンションセンター  
(鳥取県米子市末広町294番地)

## ● 来場者

約2,000人

## ● 主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

## ● 共催

鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

## ● 特別協賛

日本財団

## ● 特別協力

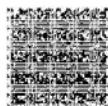
一般財団法人全日本ろうあ連盟

## ● 出場チーム

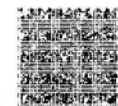
20チーム(22校)  
※平成30年5月21日(月)から7月6日(金)まで参加チームを募集したところ、全国28都府県から、62チーム(65校)の参加申込みがありました。8月2日(木)から3日(金)にかけて、審査員4名で動画視聴による予選審査会を開催し、各地方ブロック枠5チーム(北海道・東北ブロックからの選出チームなし)、得点順枠14チーム、および初出場枠1チームの計20チームを選出しました。

## ● 皇室の御臨席

佳子内親王殿下に御臨席をいただき、おこたばを賜りました。



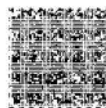
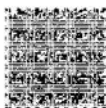
# たいかい すけじゅーる 大会スケジュール



じこく 時刻	ないよう 内容
9:00~	<p>かいかいしき 開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おーぷにんぐ えいざう ・オープニング映像</li> <li>しゅさいしや ・主催者あいさつ</li> <li>とくべつきやうりやくだんだい ・特別協力団体あいさつ</li> <li>とくべつきやうさんだんだい ・特別協賛団体あいさつ</li> <li>しゅつじやうちーむしやうかい ・出場チーム紹介</li> <li>ゆうしやうきへんかん ・優勝旗返還</li> <li>せんしゆせんせい ・選手宣誓</li> <li>しんさいんしやうかい 審査員紹介</li> <li>しんさほうほうしやうかい 審査方法紹介</li> </ul>  
9:40~	<p>しゅつじやうちーむ ばふおーまんす ぜんはん ちーむ 出場チームによるパフォーマンス(前半10チーム)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>こと くら こうとうとくべつしえんがっこう とっとりけん 1. 琴の浦高等特別支援学校(鳥取県)</li> <li>とっとりじやうほくこうとうがっこう とっとりけん 2. 鳥取城北高等学校(鳥取県)</li> <li>にほんじょしだいがくふぞくこうとうがっこう かながわけん 3. 日本女子大学附属高等学校(神奈川県)</li> <li>さかいみなとそうごうぎやうがっこう とっとりけん 4. 境港総合技術高等学校(鳥取県)</li> <li>のーとらだむせいしんこうとうがっこう ひろしまけん 5. ノートルダム清心高等学校(広島県)</li> <li>ひろしまみなみとくべつしえんがっこう ひろしまけん 6. 広島南特別支援学校(広島県)</li> <li>きいびこうとうがっこう えひめけん 7. 済美高等学校(愛媛県)</li> <li>たちかわ がっこう とうきやうと 8. 立川ろう学校(東京都)</li> <li>ふじもりこうとうがっこう とうきやうと 9. 富士森高等学校(東京都)</li> <li>せいしんがくえんちゅうとうきやういっくがっこう ならけん 10. 聖心学園中等教育学校(奈良県)</li> <li>なるおこうとうがっこう ひょうごけん 11. 鳴尾高等学校(兵庫県)</li> <li>くろいしげんしえんがっこう くまもとけん 12. 黒石原支援学校(熊本県)</li> </ol>  
11:50~	<p>きゅうけい 休憩</p>

じこく 時刻	ないよう 内容
12:40~	<p>しゅつじやうちーむ ばふおーまんす こうはん ちーむ 出場チームによるパフォーマンス(後半10チーム)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ちゅうおう がっこう とうきやうと 11. 中央ろう学校(東京都)</li> <li>まわしこうとうがっこう おきなわけん 12. 真和志高等学校(沖縄県)</li> <li>くまもとろうがっこう くまもとけん 13. 熊本聾学校(熊本県)</li> <li>おかざきひがしこうとうがっこう あいちけん 14. 岡崎東高等学校(愛知県)</li> <li>よなごひがしこうとうがっこう とっとりけん 15. 米子東高等学校(鳥取県)</li> <li>みいこうとうがっこう ちくおかけん 16. 三井高等学校(福岡県)</li> <li>よこはまなんりやうこうとうがっこう かながわけん 17. 横浜南陵高等学校(神奈川県)</li> <li>きやうわこうとうがっこう あいちけん 18. 杏和高等学校(愛知県)</li> <li>たつるはまこうとうがっこう いしかわけん 19. 田鶴浜高等学校(石川県)</li> <li>ならけんりつ がっこう ならけん 20. 奈良県立ろう学校(奈良県)</li> </ol> <p>しんさいんこうひやう 審査員講評</p>  
14:45~	<p>きゅうけい 休憩</p>
15:00~	<p>しゅわ ばふおーまんす すてーじ ばふおーまんす 「手話パフォーマンス きいろぐみ」によるステージパフォーマンス</p>
15:25~	<p>しんさほうほう びやうしやうしき 審査発表/表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>とっとりけんちゅうがく(しょうがいしやうきやう)がくしやう ・鳥取県聴覚障害者協会賞</li> <li>にっぽんざいだしやう ・日本財団賞</li> <li>ぜんにほん ぜんれんれいしやう ・全日本ろうあ連盟賞</li> <li>しんさいんちゅうべつしやう ・審査員特別賞</li> <li>だい い ・第3位</li> <li>じゅんゆうしやう ・準優勝</li> <li>ゆうしやう ・優勝</li> </ul> <p>しんさいんちゅうひやう 審査員長講評</p> <p>へいかい 閉会あいさつ</p> <p>えんていんぐ エンディング</p>  
16:00	<p>へいかい 閉会</p>





# 開会式

## 主催者あいさつ

手話パフォーマンス甲子園実行委員会 会長

平井 伸治

今日は、佳子内親王殿下のご臨席を仰ぎ、全国各地の高校生の皆様をお迎えさせていただきました。本日ここに、私達鳥取県におきまして、第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園を開催することができました。県民にとりまして、無上の喜びでございます。本当にありがとうございました。

また、全日本ろうあ連盟石野理事長、日本財団吉倉常務理事、さらには、地元の鳥取県聴覚障害者協会下垣理事長をはじめとして数多くの皆様のご支援をいただきました。あわせて、伊木米子市長、渡辺米子市議会議長、さらには稲田鳥取県議会議長はじめ、数多くの皆様方大変なご支援をいただきました。感謝を申し上げます。

全国からよう来てごしました。今日は、全国の62の高校から激しい激戦を乗り越えまして、20のチームが集まりました。おめでとうございます。

昨日申し上げましたとおり、鳥取県は現在、名前を改めて、蟹取県になっております。あの、引退をされました安室奈美恵さんも歌っていました。

そういう訳で、皆様も楽しんでいただきまして、晴れの舞台を、是非皆様の方で飾っていただきたいと思っております。

さて、国は、障害者差別解消法を施行いたしました。それに先駆けまして、鳥取県ではあいサポート運動を実践しております。



「障がいを知り、共に生きる」

それを目指して、みんなで運動をしよう。そういうことがスタートし、現在までには、おおよそ43万人の方に、参加

いただいているところでございます。その鳥取県では、手話言語条例も制定されました。今では200近い自治体が条例を作っています。皆様の力が世の中を変えていきます。是非、共に新しい時代を創りましょう。

ノーベル賞受賞が決まりました本庶先生がいらっしゃいます。先生の奥様は、滋子さんでいらっしゃいますが、この方は、鳥取県の倉吉市のご出身でございます。本庶先生はおっしゃっておられました。

「自分には無いものを持っている、そういう人達と出会うことで成長することができる。」

皆様も本日、数多くの仲間と出会いを果たします。皆様もますます成長し、そして、社会に手話を広げていく、そういう運動が前へ前へ、進むことになると思っています。皆様とともに「手話革命」を起こしたいと思っております。

今日は、本当におめでとうございます。そして、優勝を目指して頑張ってください。厳しい練習を積み重ねてこられた結果、皆様の夢を実現していただきたいと思っております。私達鳥取県民もカニと一緒に応援しています。どうもありがとうございました。だんだん。

## 佳子内親王殿下おことば

本日、「第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が開催され、皆様にお会いできましたことを大変うれしく思います。

5年前の、平成25年に、鳥取県では、全国で初めての手話言語条例が制定されました。他の多くの地域でも、手話の普及に向けた様々な取り組みが行われています。昨年末には、国際連合により、9月23日を「手話言語の国際デー」と宣言する決議が採択されました。このように、手話に対する意識を高める活動に力を尽くしておられる方々に、心より敬意を表します。

今回の大会の予選には、これまで最も多い62チームが参加しました。この大会の交流の輪が広がっていることを、大変喜ばしく感じております。

私は、この大会に出席するたびに、高校生の皆様が、熱意をもって手話パフォーマンスに取り組む姿に、深い感銘を受けてきました。

これから出場される皆様も、今日のために、日々、努力を積み重ねてこられたことと思います。様々な表現を工夫しながら舞台を作りあげたことや、仲間と共に目標に向かって励んだことは、貴重な経験になったのではないのでしょうか。これから行われる一つ一つの舞台で、これまでの練習の成果を十分に発揮されることを、期待しております。

最後に、この大会を通して、聴覚に障がいのある方々と、大切な言語である手話に対する理解が一層深まるとともに、この大会が皆様にとって素晴らしい思い出となることを願い、開会式に寄せる言葉といたします。







# 開会式

かいかいしき

## 特別協力団体あいさつ

いっばんざいだんほうじんぜんにほん れんめい りぢちよう  
一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事長  
いしの ふじさぶろう  
**石野 富志三郎**



さくじつ たいふう しんばい ほんじつ あきは  
昨日の台風はとても心配しましたが、今日は秋晴れにな  
りました。

だいい かいぜんこくこうこうせい しゅわ ぽあーまんす こうしえん  
さて、第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園、  
盛大に開催されますことに、心よりお祝い申し上げます。

とっとりけん ぜんこく ぼし しゅわげんごじようれい せいいてい  
ここ鳥取県が全国で初めて手話言語条例を制定して  
から早6年が経ちました。鳥取発の取組みは全国各地に  
おお えいきよう あた げんざい じちたい じようれい せいいてい  
大きな影響を与え、現在190の自治体で条例が制定され  
るまでになりました。手話言語の普及に伴い、この手話  
ぽあーまんす こうしえん さまざまな たち とうり  
パフォーマンス甲子園のような様々な形での取組みが  
ぜんこくかくち ぶに  
全国各地で行われるようになりました。

ほしん がつ にち こんれんそうかい がつ にち しゅわ  
昨年12月19日には国連総会において、9月23日を手話  
げんご こくさいでー けつぎ しょうわげんご  
言語の国際デーとすることが決議されました。手話言語  
こくない あじあ ぜんせかい ひろ  
が国内だけではなくアジアや全世界へ広がっています。  
せんじつ せかい れんめい あじあ ちいさ じむきやく じっぽんざいだん しゅわ  
先日世界ろう連盟アジア地域事務局と日本財団の主催  
とうきよう しゅわげんご こくさいでー きねん いべんと かい  
で東京において、手話言語の国際デー記念イベントを開  
さい あじあ くにでに たいし きんか  
催しアジアの国々の大使や参加いただいたりょう者ととも  
いわ わたくし ばねるでいすかつしん ばねりすと  
祝いました。私もパネルディスカッションのパネリストとして、  
しゅわげんご ちいさ か ひと か ほんし  
手話言語が地域を変える、人を変えるということをお話さ  
せう ろびー しゅわげんご こくさい  
せていただきました。今日、ロビーでも手話言語の国際  
でー きねん いべんと とうじつ ようす でんじ  
デー記念イベントの当日の様子を展示しておりますので、  
らん  
ご覧ください。

ほんじつ ほんせん しゅつじよう みな ちーむ いちがんと  
さて、本日の本選に出場される皆さんもチーム一丸と  
ひびれんしゅう つ かつさ おも しゅわ  
なって日々練習を積み重ねてきたと思います。手話はとて  
おくぶか しゅわひようげん むげん みりやく しゅわ  
も奥深く、手話表現は無限です。その魅力ある手話を  
つか みな ちから あ つく ぽあーまんす  
使って、皆さんの力を合わせて、創りあげたパフォーマンス

ちから かつさ みな しゅわ ぽあーまんす  
を力の限り見せてください。その手話パフォーマンスは、  
かんきやく かつがた かんどう あた こんてい しゅわげんご かん  
観客の方々に感動を与え、根底にある手話言語への関  
しん たか とうりけんしゅわげんごじようれい  
心を高めてくれるはずです。鳥取県手話言語条例からは  
じまった手話言語を広める新しい取組みが広がること  
き ひと じゆん おも みなさま きさ  
で、聞こえない人がいつでもどこでも自由に手話言語を  
しよう しゅわげんご きまざまな たの 豊た しゅかい  
使用でき、手話言語で様々なことが楽しめる豊かな社会  
が実現できます。皆さんのような若い世代からの手話によ  
る発信がこれからも続くことを期待しています。

さいご ほんたいかい しゅわ ぼ  
最後になりますが、本大会の主催であります手話パ  
ぽあーまんす こうしえん じっごういんかい とうりけん とうり  
フォーマンス甲子園実行委員会をはじめ、鳥取県、鳥取  
けんもつかししゅわげんごじようれい じっぽんざいだん こんご ますます  
県聴覚障害者協会、そして日本財団の今後の益々のご  
はつてん しゅつじよう みなさま けんとう いの わたくし あいさつ  
発展と出場の皆様の健闘を祈り、私の挨拶といたします。

## 特別協賛団体あいさつ

にっぽんざいだん じょうむりじ  
日本財団 常務理事  
よしくら かずひろ  
**吉倉 和宏**



ほんじつ けいこ ないしんのうでんが けんせき すぼ  
今日は、佳子内親王殿下ご臨席のもと、このような素晴  
らしい会場で手話パフォーマンス甲子園が盛大に開催さ  
れますことを、心よりお慶び申し上げます。また、この度ご  
あいさつ きかい しゅわ ぽあーまんす こうしえん じっ  
挨拶の機会をいただきました手話パフォーマンス甲子園実  
行委員会の皆様にご心よりお礼申し上げます。そして、こ  
こに集まった高校生の皆様、予選を勝ち抜き、ようこそ鳥  
とり けいひい ひろ とうりく みなさま みが わが  
取にいらしゃいました。日頃の努力と皆様の磨かれた技  
に、心より敬意を表したいと思います。そして、皆様を支え  
て下さっているご家族の皆様、先生方、友人や先輩にも、  
かんしゃ もう あ  
感謝を申し上げます。

わたし にっぽんざいだん きさ ひらにじ ほんし  
私たち日本財団は、先ほどの平井知事からお話があり  
ました「手話革命」を日本で起こしたいと、かねてより考え  
ておりました。そのためにも、5回にわたって手話パフォー  
まんす こうしえん しえん ちか しゅうらい でんしゅ び  
フォーマンス甲子園を支援しております。近い将来、電車や飛  
こうき の すーぱー にほんじゅう しゅわ み  
行機に乗っても、スーパーでも、日本中どこでも手話を見  
かけ手話が見える社会、そんな社会が来ることを目指し  
ています。そのために、今回出場された高校生の皆様  
に、2つのお願いがあります。

まず1つ目は、今日は笑顔で全力を尽くしてパフォーマ  
ンスを演じて欲しいということです。これは、皆様の力を余  
すことなく発揮して欲しいというだけではありません。若い  
みなさま おお かつがた かんどう きょうかん ま よ おお  
皆様には、多くの方々の感動、共感を呼び寄せる大きな  
ちから いま じっかん な  
力があります。今は実感が無いかもしれませんが、かつて  
こうこうせい ひたむき ちから しん みなさま  
高校生だった人達はそれを信じています。皆様の笑  
おお どりやく かいま あ しんかん しゅうい つた  
顔、ひたむきな努力が垣間見られる瞬間に、周囲に伝わ

おお ちから ほつき おお かつがた ちから  
る大きな力が発揮されます。多くの方々が、その力によっ  
て感動、共感すると共に、手話への理解、手話に対する  
かんしん よ  
関心を寄せてくれる、それが「手話革命」につながる第一  
歩だと思っています。

そして、2つ目のお願い。この手話パフォーマンス甲子  
園が終わってからも手話を続けて欲しいと願っています。  
この全国大会に出場したことで、皆様は手話の伝道師にな  
ったと信じています。この手話の伝道師の活動は、皆  
様が手話をしている姿を多くの方に見ていただき興味を  
も 持つていただくこと。この手話パフォーマンス甲子園が終  
わった後でも、40年、50年、60年と、皆様の手話をしなが  
ら、手話を伝えていく、手話を魅せていく、そんな活動、暮  
らしかた い かつた でんどうし つづ け  
らし方、生き方をして、伝道師を続けて欲しいと願ってい  
ます。

今日は、この2つのお願いを高校生の皆様に申し上げ、  
これから披露される演技で全力を発揮され、この会  
場を皆で盛り上げ大きな力を共有し、笑顔でお  
できるよう願っています。皆様の健闘を期待しています。







# 開会式

## 優勝旗返還

ななけんりつ がっこう ならけん  
奈良県立ろう学校(奈良県)  
なかやま かいと  
中山 海人

さくねん だい かいたいかいしゅう ちーむ ならけんりつ がっこう  
昨年の第4回大会優勝チーム 奈良県立ろう学校  
の中山海人さんから、平井伸治鳥取県知事へ優勝旗  
が返還されました。代わって、平井知事から中山さん  
に優勝盾が贈られました。



さくねん だい かいたいかい ひょうしゅうしき  
(昨年の第4回大会の表彰式)

## 選手宣誓

なるお こうとうがっこう ひょうごけん  
鳴尾高等学校(兵庫県)  
つだ はるか  
津田 遙

せんせい せんせい  
宣誓。  
わたし だい かいぜんこくこうせいしゅう ぼふおーまんす こうし  
私たちは第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子  
園に結集し、それぞれの学校で知恵を出し合い、技能  
を高め手話パフォーマンスをここで披露しあえる貴重  
な機会を得ることができました。

おお かがた しえん きょうりやく みか かんしや  
多くの方々のご支援やご協力で深く感謝するととも  
に、今日を全力で楽しみ、そして皆さんも楽しめるように  
頑張ります。

わたし い これからの しゃかい きまごま こせい  
私たちが生きていくこれからの社会は、様々な個性  
や違い、考え方を認め合い、誰もが充実した人生を送  
ることができるような社会に必ずしたいと思います。

そのためには、たくさんの方々が出会い、コミュニケー  
ションを取りながら理解し合うことが最も大切です。  
手話という表現言語を通じて、おおぜい ひとびと たが  
に交流を深め、優しい社会を作る、大きなきっかけとなる  
ように今日は全力を発揮することを誓います。

平成30年10月7日  
ひょうごけんりつなるおこうとうがっこう つだ はるか  
兵庫県立鳴尾高等学校 津田 遙



# 出演者紹介

## 演技司会者



はやせ けんたろう  
早瀬 憲太郎さん  
ろう児対象の国語専門学習  
塾「早瀬道場」塾長。映画監  
督。元NHKみんなの手話講  
師。デフリンピックサマスン2017  
自転車競技日本代表。



なかの いくみ  
中野 郁海さん  
鳥取県出身。平成12年8月20  
日生まれ。AKB48チーム8鳥  
取県代表/チームK兼任。平  
成26年10月とっとりふるさと大  
使、平成30年6月鳥取県「とっ  
とり未来キッズプロジェクト」の  
応援キャラクターに就任。

## 総合司会者



はらだ ひろかず  
原田 裕和さん  
NHK鳥取放送局チーフアナウンサー。岡山県出身。平成5年NHK入局。山口・広島・東京などを  
経て平成30年6月からNHK鳥取放送局勤務。

## 審査員



しやうざき たかし  
庄崎 隆志さん  
演出家・俳優  
審査員長



なかの えいじ  
小中 栄一さん  
一般財団法人  
全日本ろうあ連盟副理事長



たかだ みどり  
貴田 みどりさん  
女優・ダンサー



かど ひでひこ  
門 秀彦さん  
絵かき



かなざわ えいこ  
金沢 映子さん  
舞台女優



てらかわ しずこ  
寺川 志奈子さん  
鳥取大学  
地域学部 教授

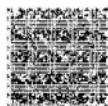
## ゲストパフォーマー

### 手話パフォーマンス きいろぐみ

手話はろう者が生み出した美しい芸術!「ろう者と手話の立場から  
多くの人に夢を!!」を合言葉に集まったろう者と聞こえる人のサイン  
パフォーマンスグループ。







# 表彰結果



## 優勝

### 真和志高等学校(沖縄県)

- 演技タイトル / 「時をこえ ~今私たちができること~」
- 演技内容 / ダンス・演劇
- 審査得点 / 273点
- 演技順 / 12



## 準優勝

### 黒石原支援学校(熊本県)

- 演技タイトル / 「車椅子に乗って気づいたこと」
- 演技内容 / 演劇・ボエム
- 審査得点 / 256点
- 演技順 / 10



## 第3位

### 熊本聾学校(熊本県)

- 演技タイトル / 「笑う門には福来る ~熊ろう寄席~」
- 演技内容 / コント・落語
- 審査得点 / 251点
- 演技順 / 13



## 審査員特別賞

### 中央ろう学校(東京都)

- 演技タイトル / 「THIS IS ME」
- 演技内容 / ダンス・演劇・歌唱・アメリカ手話
- 演技順 / 11



## 全日本ろうあ連盟賞

### 立川ろう学校・富士森高等学校(東京都)

- 演技タイトル / 「情熱 ~伊能忠敬とリコの阿波踊り~」
- 演技内容 / ダンス・演劇・イリュージョン
- 演技順 / 7



## 日本財団賞

### 杏和高等学校(愛知県)

- 演技タイトル / 「おそそ仁王」
- 演技内容 / 狂言
- 演技順 / 18



## 鳥取県聴覚障害者協会賞

### ノートルダム清心高等学校・広島南特別支援学校(広島県)

- 演技タイトル / 「広島県の私達が今、伝えたいこと」
- 演技内容 / 歌唱・演劇・ギター演奏
- 演技順 / 5







# 表彰内容

## 賞状



優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞

## 優勝旗



## 副賞

- 優勝  
「東京ディズニーリゾートギフトパスポート及び旅行券」
  - 準優勝  
「鳥取県の特産品の詰め合わせ」
  - 第3位  
「鳥取県の特産品の詰め合わせ」
  - 審査員特別賞  
「鳥取県の特産品の詰め合わせ」
- 全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞にも、それぞれ受賞チームへ副賞が贈られました。

## 盾



## メダル



優勝、準優勝、第3位の選手全員に授与  
(素材は鳥取砂丘の砂)

## 梨華賞



受賞チームを除く本大会出場チームに梨華賞を授与しました。

# チーム演技

## 01 琴の浦高等特別支援学校 (鳥取県)

初出場

演技タイトル / 「つかむんだ 未来を！」

演技内容 / ダンス・メッセージ  
メンバー人数 / 10人



## 02 鳥取城北高等学校 (鳥取県)

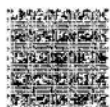
4回目

演技タイトル / 「手話 de 大喜利」

演技内容 / 漫才・大喜利(なぞかけ)  
メンバー人数 / 9人







# チーム演技



## 03 日本女子大学附属高等学校 (神奈川県)

初出場

■演技タイトル／

「オズの仲間たちが教えてくれたこと  
～多様性が未来をつなぐ～」

■演技内容／人形劇・歌唱・語り

■メンバー人数／14人

▼動画はこちら



## 04 境港総合技術高等学校 (鳥取県)

5回目

■演技タイトル／

「おへそのあな」

■演技内容／演劇

■メンバー人数／19人

▼動画はこちら



## 05 ノートルダム清心高等学校 (広島県) 広島南特別支援学校 (広島県)

2回目

初出場

■演技タイトル／

「広島県の私達が今、伝えたいこと」

■演技内容／歌唱・演劇・ギター演奏

■メンバー人数／15人

▼動画はこちら



## 06 済美高等学校 (愛媛県)

初出場

■演技タイトル／

「恩送り」

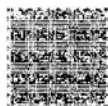
■演技内容／歌唱・ダンス・演劇・ナレーション

■メンバー人数／12人

▼動画はこちら







# チーム演技

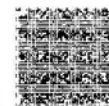
## 07 立川ろう学校 (東京都) 3回目 富士森高等学校 (東京都) 初出場

■演技タイトル / 「情熱 ~伊能忠敬とリコの阿波踊り~」

■演技内容 / ダンス・演劇・イリュージョン

▼動画はこちら

■メンバー人数 / 10人



## 09 鳴尾高等学校 (兵庫県) 初出場

■演技タイトル / 「がんばれ がんばれ 手話パフォーマンス甲子園」

■演技内容 / 歌唱・ダンス・演劇

▼動画はこちら

■メンバー人数 / 8人



## 08 聖心学園中等教育学校 (奈良県) 3回目

■演技タイトル / 「粉雪」

■演技内容 / ダンス

▼動画はこちら

■メンバー人数 / 5人



## 10 黒石原支援学校 (熊本県) 初出場

■演技タイトル / 「車椅子に乗って気づいたこと」

■演技内容 / 演劇・ポエム

▼動画はこちら

■メンバー人数 / 1人

